

第2回横浜市大さん橋等指定管理者選定評価委員会会議録	
日 時	令和6年10月16日(水)13時00分～17時10分
開 催 場 所	横浜市庁舎30階30-S10会議室 実地調査・ヒアリング 大さん橋国際客船ターミナル・会議室、 臨港パーク・みなとみらいさん橋・国際交流ゾーン・会議センター会議室、 日本丸メモリアルパーク・訓練センター会議室
出 席 者	横内憲久委員長、池邊このみ委員、沖野智子委員、竹本孝弘委員、福田政也委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開(傍聴者0人)
議 題	1 施設実地調査 2 指定管理者自己評価説明・質疑応答
決 定 事 項	1 大さん橋国際客船ターミナル、臨港パーク関連施設、日本丸メモリアルパークの実地調査を行った。 2 指定管理者からの自己評価説明のあと、それに対する質疑応答を行った。
議 事	1 臨港パーク関連施設 (1) 施設実地調査(臨港パーク、みなとみらいさん橋、国際交流ゾーン) (2) 指定管理者自己評価説明及び質疑応答 指定管理者(株式会社横浜国際平和会議場)より説明 (池邊委員)最近のゲリラ豪雨など異常気象が起こったときには、どのように対処しているのか。 (指定管理者)一例として、「みなとみらい大盆踊り」では休憩所を屋外から隣接する展示ホールの中に変更し、豪雨や暑さへの対策を行った。 (沖野委員)今後人件費も上がるほか、緊急に修繕を実施することもあると思うが、予算の計画と実績はしっかり管理してほしい。 (竹本委員)最近は天候が急変することも多いが、気象情報はどのように集めているのか。 (指定管理者)気象情報は独自での入手だけでなく、市や消防からも収集に努めている。 (福田委員)市内中小企業の優先発注の取組は。また、警備で使用しているセグウェイについて、平日と土日それぞれの巡回頻度は。 (指定管理者)発注に当たっては社内規則に沿って、市内中小企業にも配慮しながら選定している。警備は平日休日問わず24時間体制で行っており、セグウェイでは日中帯に1日4回、徒歩では1時間ごとに巡回している。 (横内委員長)イベント時だけではなく、パークの日常的な利用者数はカウントしているのか。 (指定管理者)警備が巡回するときにカウントしており、昨年度100万人を突破した。

(池邊委員) 樹木の質が以前より高くなっている印象。非常にきれいに手入れされているが、剪定の費用を何か工夫しているのか、また、見通しがいいように剪定するなど、何か工夫があるか。

(指定管理者) 植栽の委託会社との打合せの中で、当方の要望を伝え、プロの目でデザインしてもらっている。

## 2 大さん橋

(1) 施設実地調査 (国際客船ターミナル)

(2) 指定管理者自己評価説明及び質疑応答

指定管理者 (一般社団法人横浜港振興協会) より説明

(沖野委員) 収支に関しては、収入増となっており、全体として努力されている。一方で修繕費の支出が当初予算より増加している。

(指定管理者) 修繕は、計画に加えて老朽化した箇所や利用者からご意見をいただいた箇所を行った。

(沖野委員) 広報に関しては、インスタグラムを拝見したが、若い方の来場を促進するには重要な要素であり、そうした視点で発信することが大切だ。

(指定管理者) イベントをインスタグラムでライブ中継するなど、若い世代向けに SNS を活用している。ヨルノヨのクジラのプロジェクションマッピングはかなり好評で若い世代の集客に繋がった。

(池邊委員) 国際ターミナルとして、海外からの利用者の評価はどうか。また、東京に行かずに横浜に滞在してもらうための取組みはあるか。

(指定管理者) 海外からの利用者向けのサービスとして、SIM カード自動販売機の導入などのサービス向上に取り組み、利用者から評価されている。

また、横浜に滞在してもらうため、観光案内の実施や、無料のシャトルバスの運行、市内ホテルの PR など、様々な取組を実施している。

(横内委員長) 利用者の意見を収集する手段として、アンケートを実施しているが、モニター制度のように、リピーターの方からより深い意見をヒアリングする手段も効果的であるので提案したい。

(竹本委員) 人材育成に関しては、職員やスタッフ向けに多くの研修を実施しており非常に良いと思う。また、ウッドデッキについては、費用の課題もあるだろうが、適切な維持管理を期待する。

(指定管理者) 人材育成については、一人で複数の役割をこなせるように毎月研修を行っている。また、設備の維持管理は、2か月に1回館内総点検をしており、都度修繕に取り組んでいる。

(福田委員) コロナ禍以降に新たなイベントが実施されており、順調に展開されていると思う。

## 3 日本丸メモリアルパーク

(1) 施設実地調査（帆船日本丸、横浜みなと博物館）

(2) 指定管理者自己評価説明及び質疑応答

指定管理者（公益財団法人帆船日本丸記念財団）より説明

(福田委員) 博物館をリニューアルして入場者は増加しているのか。シミュレーターは時間がかかり混雑すると思うが、工夫はあるか。

(指定管理者) 入館者数はコロナで一度大きく落ち込んだが、順調に回復している。

入館料を値上げしたこともあり、収入は増えている。校外学習など学校単位で来館する場合などは、シミュレーターやVRシアターに集中するが、班ごとに行動することで多少は緩和しているようである。

(竹本委員) 日本丸の保守整備を担当する船員の確保について、派遣元の海技教育機構も人手不足と聞いているが、今後どのように対応していくのか。

(指定管理者) 帆船に乗った者でないと対応できない内容も多く、専門的な者が減少していくと、この先維持管理が困難になる。具体的には、高齢のOBにアルバイトとして必要な時に来てもらっている。今後は、他団体と協力するなどの工夫が必要と考えている。

(沖野委員) 収支の目標は達成している。結果をしっかりと分析し、今後の経営に活かしてほしい。今期黒字になったとはいえ、人手不足と同時に、物価も人件費も上昇しており、今後厳しい状況は続くと思うので、しっかりと計画を立てて予算に反映していく必要がある。また、映えスポットなどを若年層に発信してもらうなど、収入増につながる取組をしてほしい。

(池邊委員) VRシアターにより、子どもだけでなく幅広い世代の方に、日本丸を再認識してもらえるようになったと思う。新規コンテンツの埋立展示コーナーは、横浜港の発展の過程がよく理解できるので、非常に良い展示だと思う。また、パーク全体のホスピタリティを向上させるため、緑地の植栽は重要文化財である帆船に見合うような見栄えとすべきである。

(横内委員長) 総帆展帆など多くのボランティアが参加しているが、何か特典はあるのか。

(指定管理者) 緑地や博物館も含め、全部で6種類のボランティアが活躍しており、「ボランティアの集い」を設けるなど感謝を表している。また、入館パスや、売店で利用できる金券をお渡ししている。

(横内委員長) 博物館は地階にあるが、ゲリラ豪雨などによる浸水への備えは。

(指定管理者) 航海日誌などの附つけたりをはじめ貴重な資料が収蔵されているため、入口への止水板の設置や、収蔵物を地下から運び出す訓練もしている。

(横内委員長) 文化施設は集客も大切だが、展示内容の深みが重要。歴史を伝えることも、この施設の重要な役割である。

(指定管理者) 当館の学芸員は、常に最新の知見を入れて来館者を迎える姿勢で業務に当たっている。新規利用者の獲得に向け、今年度新たに謎解きイベントの取組も進めている。

	<p>(横内委員長) 周辺には赤レンガやハンマーヘッドなど歴史を感じることができる施設が立地しているが、連携した取組はあるか。</p> <p>(指定管理者) 周辺の文化遺産や、企業の博物館も含めたマップを配布するなど、横の連携に引き続き取り組んでいきたい。</p> <p>(福田委員) 博物館の中の図書室は一般の方も自由に入れるのか、入場料は必要か。</p> <p>(指定管理者) この図書室は、約 8,000 冊を公開している。その他 2 万冊以上を蔵書しており、Web からもアクセスできる。図書室のみの利用は、入館料 100 円。実際にリピーターの方も多く、貴重な蔵書もあるため、利用者の増加を期待している。</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 会議次第</p> <p>(2) 横浜市大さん橋等指定管理者選定評価委員会第 2 回タイムスケジュール</p> <p>(3) 評価の進め方</p> <p>2 特記事項</p> <p>今回は、11 月 27 日 (水) に開催予定。</p>